

ブラジル日本商工会議所 業種別部会長シンポジウム

「自動車部会」レポート

2018年3月1日

< 2017年の回顧と2018年の展望 >

いま求められる新たな視点は

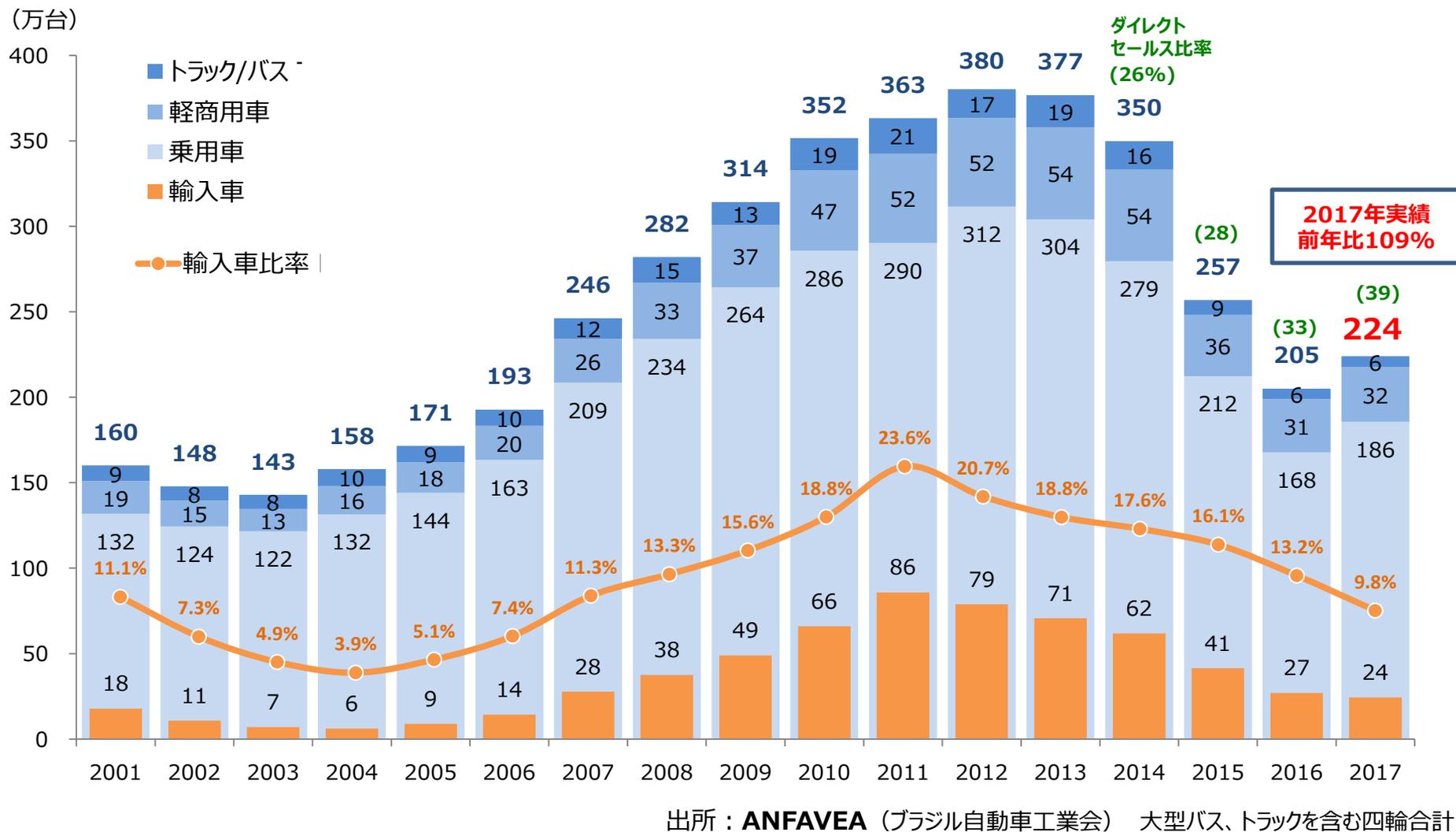
- 四輪業界動向
 1. 2017年 振り返り
 2. 2018年 展望
 3. 長期展望
 4. 日系ブランド課題への対応
 5. 総括

- 二輪業界動向

四輪業界動向

1. 2017年 振り返り
2. 2018年 展望
3. 長期展望
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

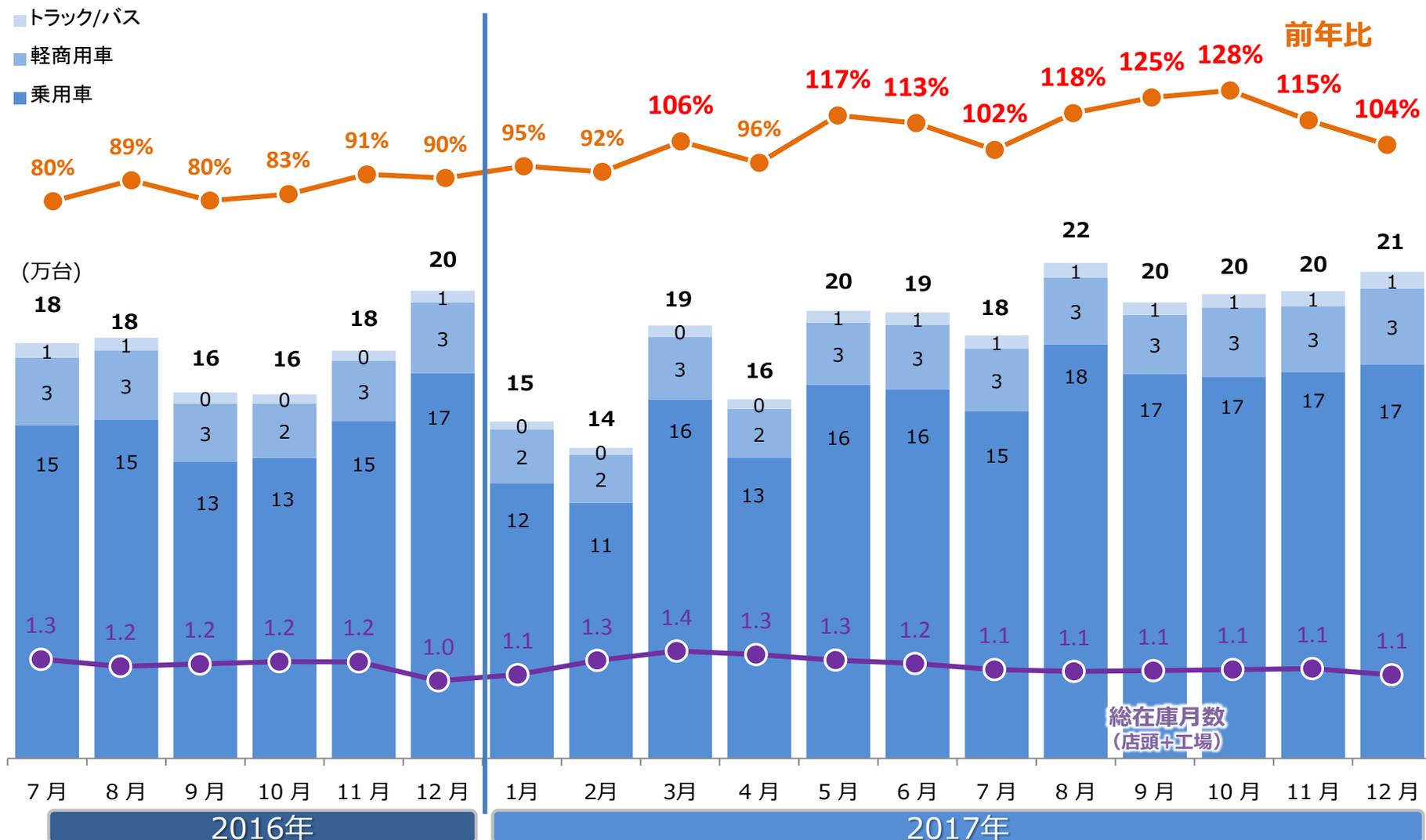
1. 2017年 振り返り – 販売台数 推移



- **2018年の4輪総市場は約248万台（前年比約109%）と、5年ぶりの前年超え**
- 輸入車台数はほぼ横這い（約25千台）、現地生産車の台数増により比率は低下

1. 2017年 振り返り 一月別販売台数 推移

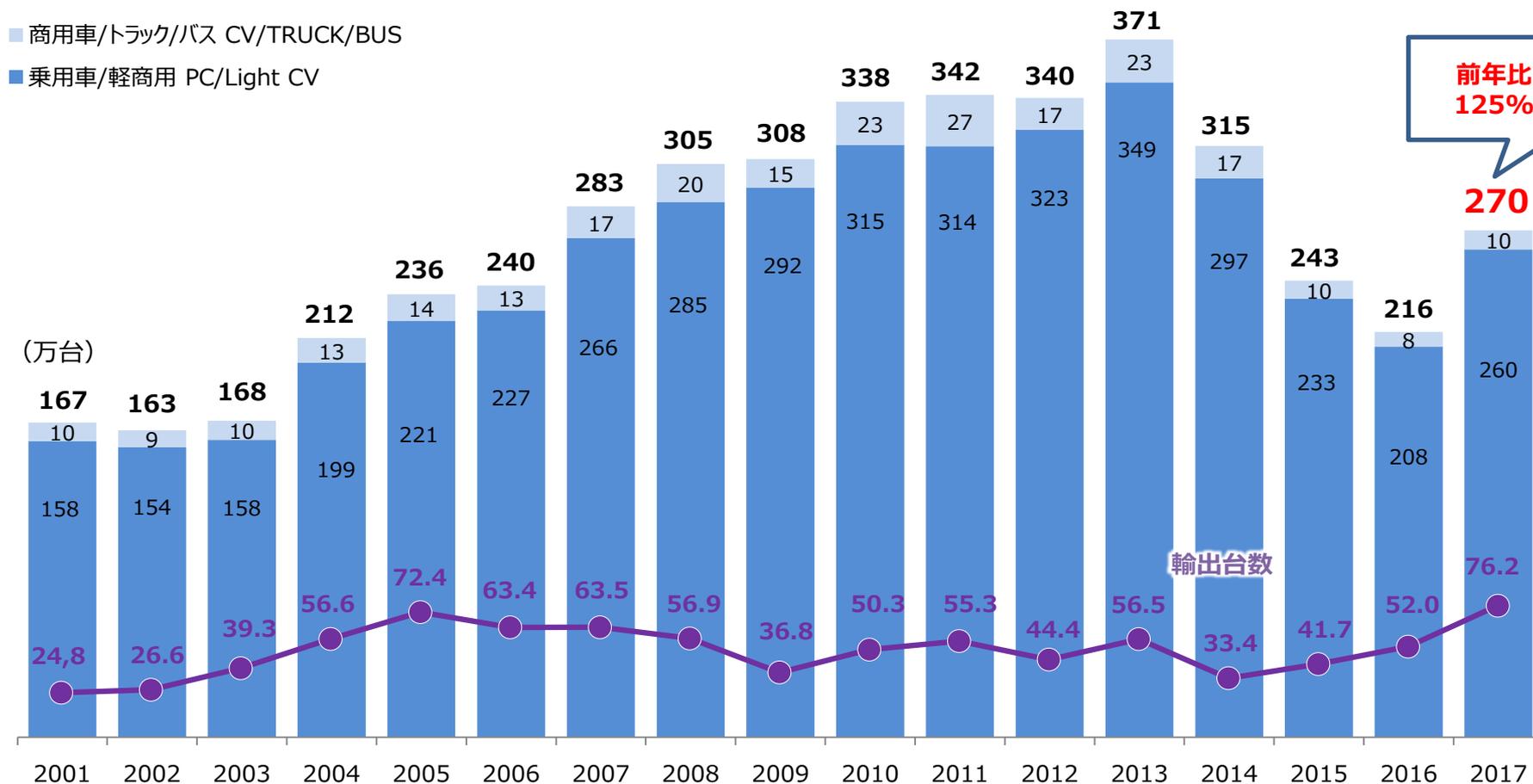
出典：ANFAVEA 大型バス、トラックを含む四輪合計



➤ 前半は前年比95～105%で推移するも、5月以降は8ヶ月連続で前年超え

1. 2017年 振り返り – 生産・輸出台数 推移

出所：ANFAVEA 生産実績にCKD含まず

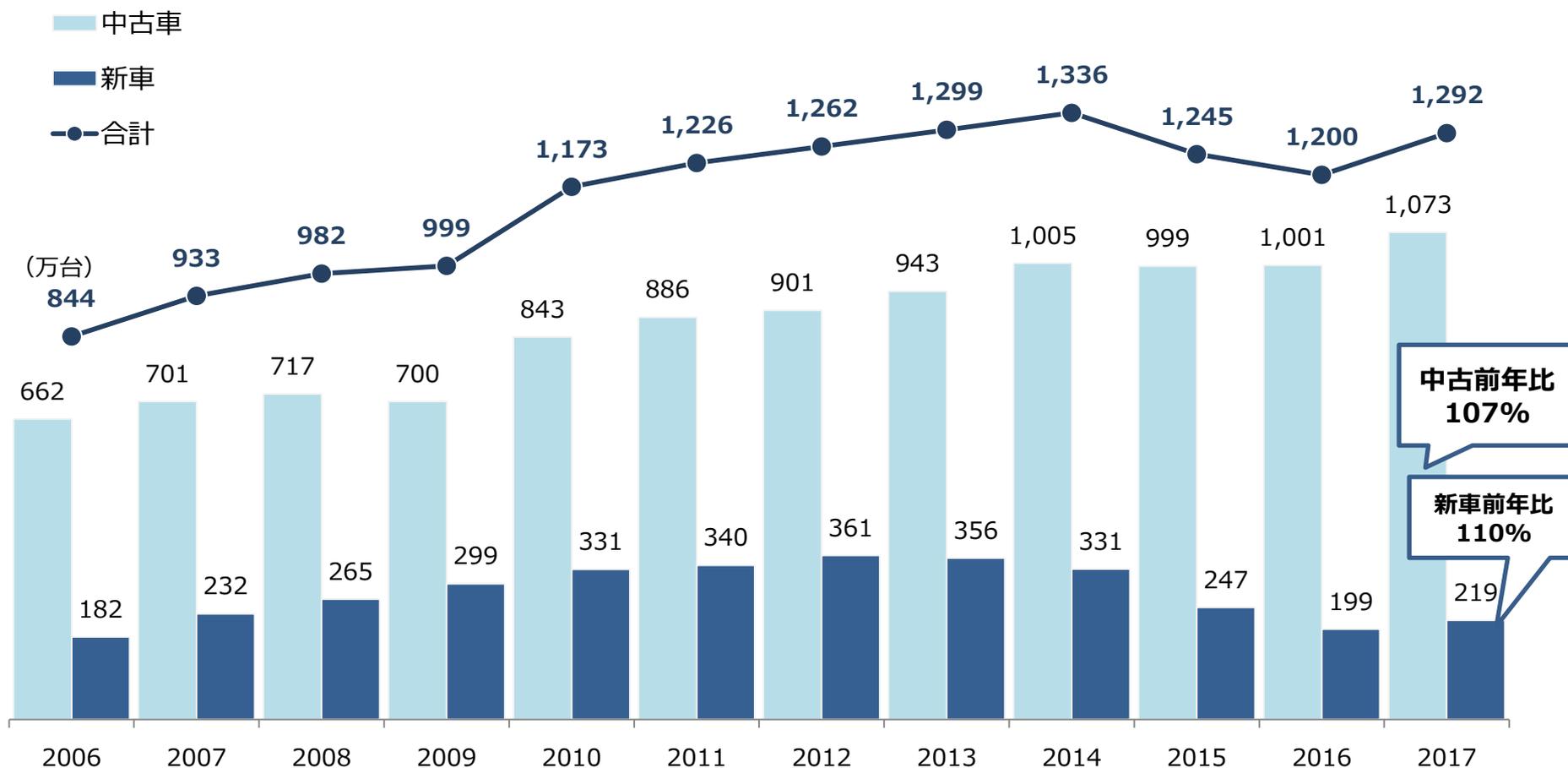


- 2017年総生産台数は約270万台（前年同期比：125%）、国内販売と同様に回復基調が鮮明。
- 各社輸出シフトにより過去最高の輸出台数を記録（76.2万台/前年比:146%）

1. 2017年 振り返り – 自動車業界(中古・新車)

出典：FENABRAVE/ ANFAVEA

※乗用車/軽商用車のみ



- 新車市場に回復が見られる中、中古車市場も前年を超え。近年、新・中合計では120～130万台レベルの市場規模。

1. 2017年 振り返り – ブランド別シェア

単位：千台、トラック・バス除き

'13	台数	シェア
1 	757	21.3%
2 	666	18.7%
3 	650	18.3%
4 	333	9.4%
5 	232	6.5%
6 	213	6.0%
7 	176	4.9%
8 	139	3.9%
9 	78	2.2%
10 Jeep		%



'16	台数	シェア
1 	346	17.4%
2 	305	15.3%
3 	228	11.5%
4 	198	9.9%
5 	180	9.1%
6 	180	9.1%
7 	150	7.5%
8 	123	6.2%
9 	61	3.1%
10 Jeep	59	3.0%



'17	台数	シェア
1 	394	18.0%
2 	291	13.3%
3 	287	13.1%
4 	215	9.8%
5 	201	9.2%
6 	190	8.7%
7 	167	7.6%
8 	131	6.0%
9 Jeep	88	3.9%
10 	79	3.6%

- スモール市場の拡大等により、Fiatを除くBIG4 (GM,FIAT,VW) のシェアが上昇。
- 日系ブランドも堅調を維持。

1. 2017年 振り返り

■ 上期に得られた好材料

- 混乱する政治の中でも、経済指標は好転（GDP プラス成長・過去最低水準の金利・インフレ率の低下・安定した為替相場）
- ブラジル国内市場 5年ぶりの前年超え
- 輸出台数 前年比大幅増
- 生産台数大幅増 工場稼働率の上昇
- 労働法改正案 下院・上院にて可決

■ 懸念項目

- テメル大統領の罷免騒動・政府高官を含めた贈収賄スキャンダルで政治面は不安定

➤ **販売・生産台数は、前年を大きく上回る実績、本格的な回復基調**

- 生産調整や輸出増など、各社の事業体質強化により、市場回復に向けた準備が整いつつある
- 政情不安は払拭されておらず、その動向と市場に与える影響について注視する必要あり

四輪業界動向

1. 2017年 振り返り
2. 2018年 展望
3. 長期展望
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

2. 2017年展望 – 自動車業界

出典：ANFAVEA 生産実績にCKD含まず

◆ ブラジル市場・輸出・生産の2017年予測

単位：万台

		2017年 最終結果	2018年 年初予測	
			ANFAVEA (1月発表)	自動車部会
国内 市場	トラック・バス 含む総合計	224 前年比：+9%	250 前年比：+12%	250 前年比：+12%
	トラック・バス 除く合計	218 前年比：+9%	242 前年比：+11%	242 前年比：+11%
輸出台数		76 前年比：+47%	80 前年比：+5%	-
生産台数		270 前年比：+25%	306 前年比：+13%	306 前年比：+13%

- ANFAVEAは2018年国内市場を 前年+12%増の約250万台程度 と予測
- 生産台数も 前年+13%増の約306万台程度と予測
- 自動車部会としての予測は、ANFAVEAと同水準

四輪業界動向

1. 2017年 振り返り
2. 2018年 展望
3. **長期展望**
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

3. 長期展望 – ブラジル自動車市場予測

前々回見直し（'17年2月）

現状の販売状況、および長期経済指標などを総合的に見た場合
ブラジル自動車市場は底打ち状態にあり、
回復に転ずるのは2017年後半～2018年と予想

前回見直し（'17年8月）

ブラジル自動車市場に回復傾向が見られ始め、
長期的には緩やかな成長基調と予想されるが、
安定的回復に向けては、引き続き政治状況とその経済への影響を注視する必要あり

今回見直し（'18年3月）

ブラジル自動車市場は5年振りに前年を上回り、回復期に入った。
長期的には300万台/年レベルへの成長も期待されるが、そのスピードは緩やかで、
政治状況とその経済・自動車市場への影響を引き続き注視する必要あり。

3. 長期展望 – Rota 2030

2/20現在未発行。
2月末～3月
発行見込み

Auto Policy ('13～'17, 5年間)

- ①現地生産
- ②燃費向上(CAFÉ)
- ③燃費ラベル
- ④技術費
- ⑤研究開発投資 等

基準に未達の場合は
IPI+30%等の
罰則あり

2017年過達
<+1%>
HONDA
NISSAN
TOYOTA
AUDI
MB
PEUGEOT
RENAULT
VW
<+2%>
FORD
GM

- ・IPI罰則等の過剰な
自国保護政策に対し
WTOから改善の
指摘あり
- ・長期スパン化
- ・新分野の強化

Rota 2030 ('18～'30, 約15年間)

同左①～④

燃費向上・研究開発投資は
強化される方向



- ・セーフティ
- ・コネクティビティ
- ・サプライチェーン強化 等

基準に未達の場合の罰則は
軽減される方向、
+15%程度（後々ゼロへ）

- 環境・安全・コネクティビティ等への投資を促進するトレンド
- WTOの指摘もあり、自国保護の流れは弱まる傾向

四輪業界動向

1. 2017年 振り返り
2. 2018年 展望
3. 長期展望
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

4. 日系ブランド 課題への対応

日系ブランドの課題

課題	対応の方向性
<p>【昨年から継続】</p> <p>①ブラジルの厳しいビジネス環境に対する事業体質の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現地生産の拡大と輸出の強化
<p>【新たな視点】</p> <p>②メルコスールと各国間のEPA・FTA拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> - メルコ-欧州：実質交渉中 - メルコ-韓国：事前協議終了 - メルコ-中国：協議スタートか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の洗い出しと対策立案を早期に実施 ・メルコ-日本EPA交渉を推進 ・「ブラジルコスト」の低減、競争力強化
<p>【新たな視点】</p> <p>③変化する顧客ニーズへの対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境（電動化・エタノール等）、安全、コネクティビティ、Industrial4.0等への対応強化 ・新しいモビリティ社会への対応

四輪業界動向

1. 2017年 振り返り
2. 2018年 展望
3. 長期展望
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

5. 総括 – まとめ

2017年実績 / 2018年展望

- 2018年も経済指標・自動車市場 / 生産は回復基調が続く見通し。
- 但し、大統領選挙等の政情不安が経済に与える懸念は払拭されておらず、市場回復のスピードには注視が必要。
- EPA・FTAの動向は、自動車業界に多大な影響を与える恐れあり

状況を踏まえた対応

- 引き続き長期的視点に立ち、環境変化に負けない事業体質強化を推進
→ 為替対応を踏まえた部品現調化や生産性向上などにより、コスト低減、および輸出促進を図る
- 現調化や輸出のさらなる加速には、ブラジルの国際的コスト競争力向上が鍵
- Rota2030含め、将来の成長を実現する枠組み作りが官民連携の下で必要
- 完成車メーカー・サプライヤー各社は、EPA・FTAの動向を注視し、早期の対策立案が必要
- 変化する新しい顧客ニーズへの対応をスタート

5. 総括（政府への提言）

政府および自動車業界の取り組みと課題

- 1) 新技術導入を促進する適切な自動車政策
 - 新技術を搭載した商品のブラジルのお客様への提供、ブラジルへの新技術集積

- 2) 自由貿易政策／輸出促進政策
 - ブラジル製車両の輸出拡大に向け、短期の経済情勢や貿易収支動向に影響を受けない一貫した政策の継続

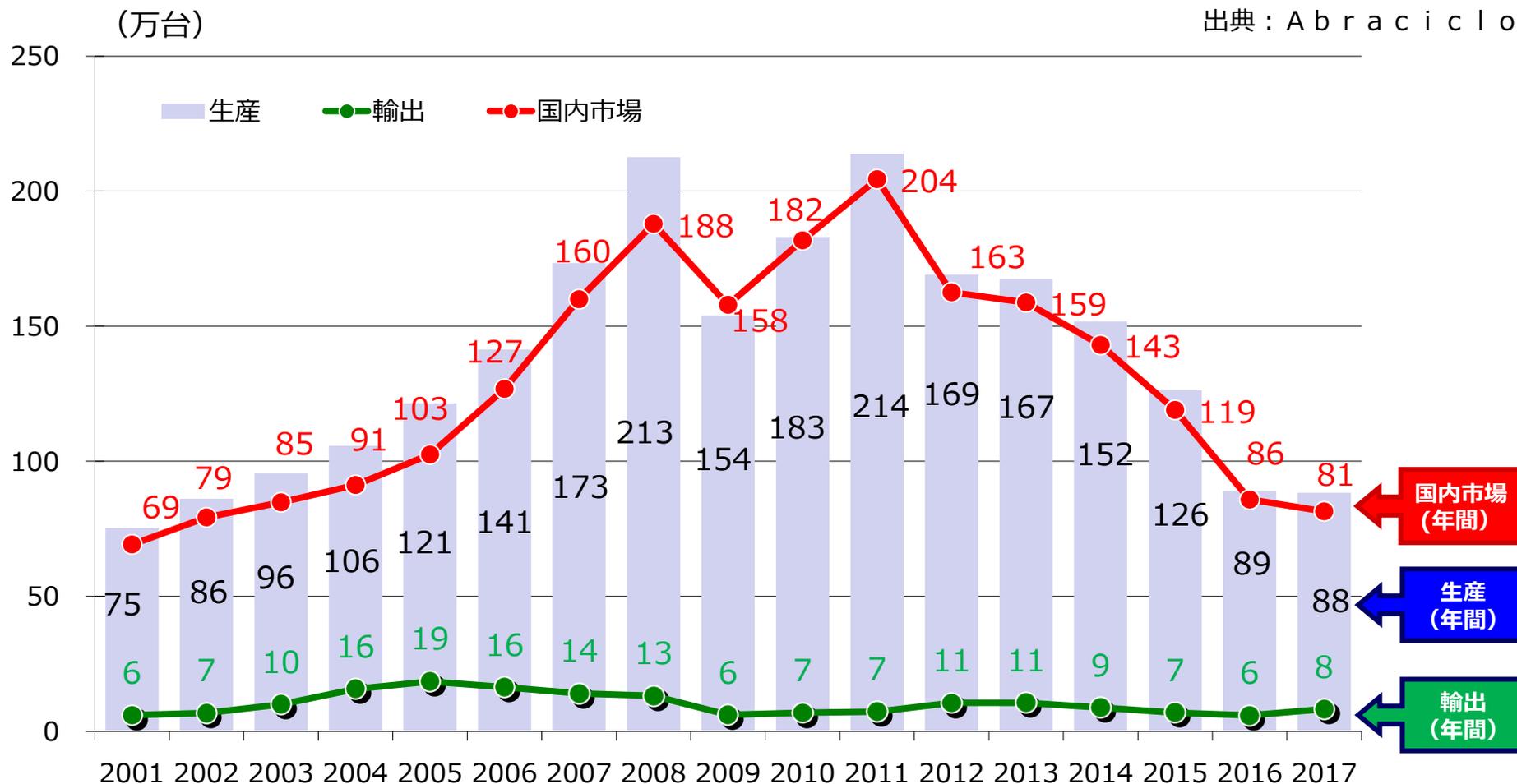
- 3) コスト削減に繋がる抜本的な取り組み
 - 道路・港湾等のインフラ整備による物流の効率化や、複雑な内国税の簡素化等

- 4) 新自動車政策Rota 2030
 - 内外差別や過度な国産化要求がされないこと
 - 新技術の導入を推進する政策であること
 - 燃費基準等については国際基準に調和した内容であること

二輪業界動向

二輪車 生産・販売 推移

出典：Abraciclo



2017年実績

卸 81万台 (前年比95%)

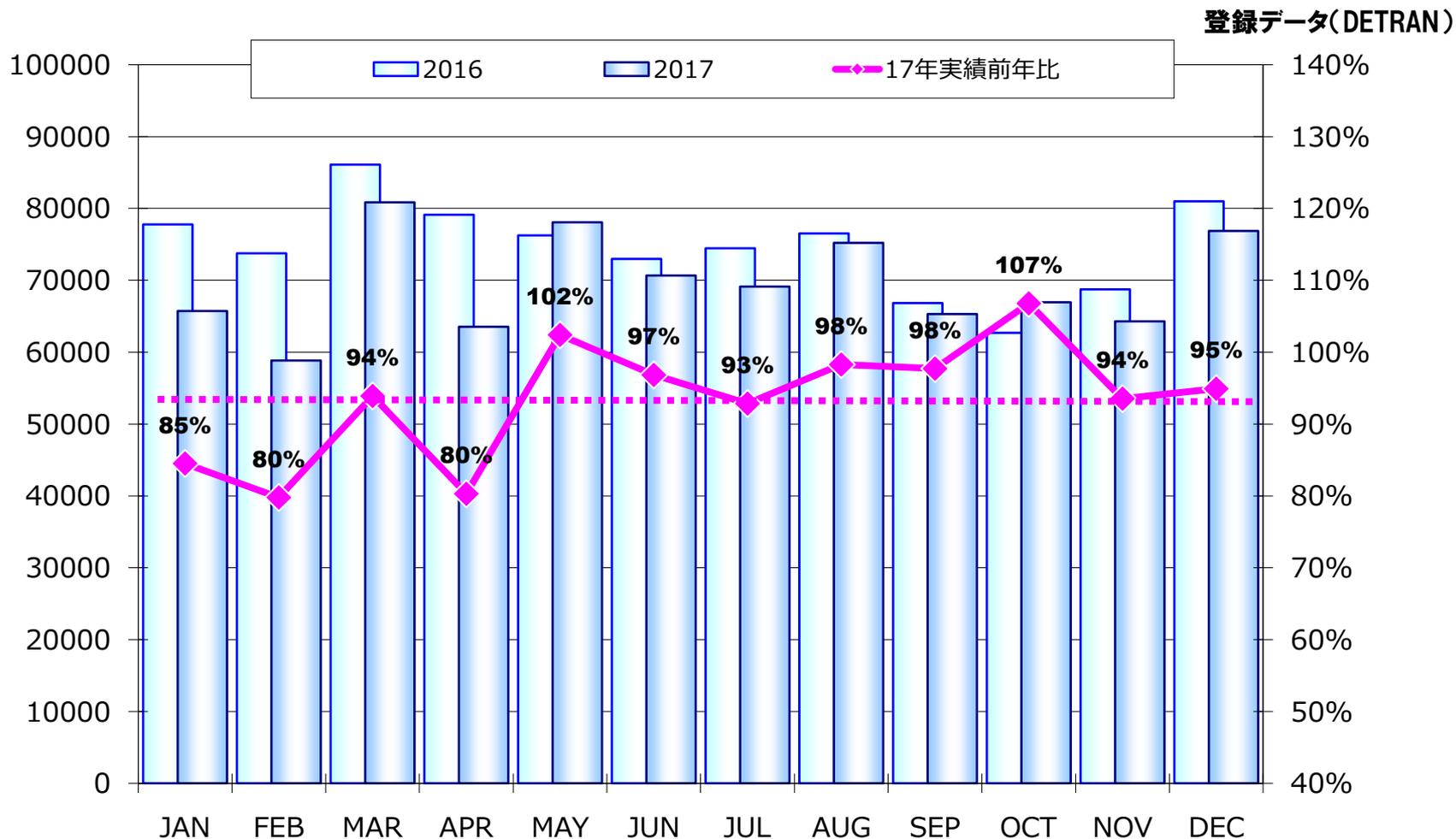
生産 88万台 (前年比99%)

輸出 8万台 (前年比139%)

雇用創出が緩やかに回復する一方、小売り、卸は前年割れが続く

輸出が増加した事により、全生産台数は前年と同レベル

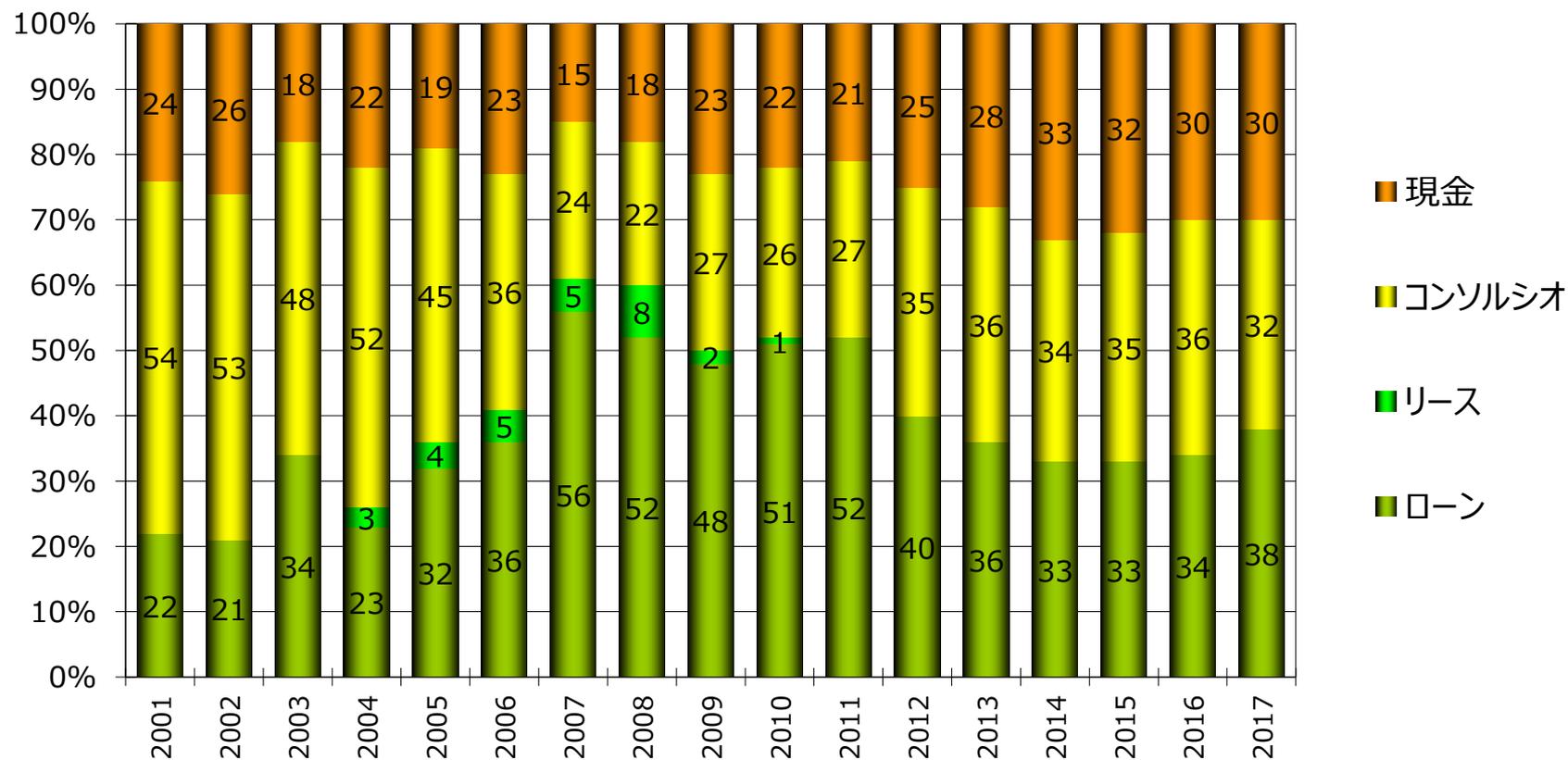
二輪車 月別販売推移 (2016年vs2017年)



消費者信頼指数が回復しているものの、依然高い失業率を背景に、17年累計は前年比93%。

二輪車 支払形態別 販売比率

※出典: ANEF(自動車メーカー系金融会社協会)



厳しい環境が続いていたローン比率が回復傾向となる。

2018年は、クレジット緩和、金利低下等により緩やかな回復が期待される。

Obrigado!